

自覚症状のない間に進行する生活習慣病 本当の健康状態が分かるのは健診だけ！

■生活習慣病で医療費が増加

生活習慣病は長年の生活習慣などが原因ですが、自覚症状のないまま進行するため、ある日突然心筋梗塞や脳梗塞といった重い症状が体に表れます。

甲佐町国民健康保険でも、生活習慣病に起因する医療費が全体の約4分の1（平成24年5月の医療費は約2,500万円）を占め、年々増加しています。

また、本町の国保の被保険者で平成24年5月に糖尿病で病院を受診した人は851人、高血圧では1,062人、脂質異常症では936人と、多くの人が生活習慣病にかかっています。

糖尿病での受診者851人のうち、網膜症での受診者は97人、腎症では144人、神経障害では23人です。白内障・網膜症の手術費が1回100万円、腎症が悪化し人工透析に至ると年600万円、神経障害が悪化し下肢切断に至ると手術費が1回100万円掛かると言われ、重症になると医療費が高額になります。そうなる前に、予防や生活改善、治療をすることが大切です。

■特定健診で、生活習慣病の進行の程度が分かります

平成24年度の特定健診受診者

のうち、生活習慣病の1つである糖尿病の有病者は109人、予備軍は188人で、健診受診者（1,056人）の約3割を占めています。

このように、健診を受診すれば、自覚症状がなくても生活習慣病がどの程度進行しているかが分かり、その結果を見て予防や生活改善、治療をすることができます。

しかし、糖尿病の有病者109人のうち、48人はまだ治療を開始していません。健診後の治療によって、症状が重くならないようにすることが大切です。

す。

■自身の健康状態を知り、健康づくりに生かしましょう

平成20～24年度の特定健診受診率と県内31町村内での順位の違いを見てみると、下表のとおり、本町は受診率、順位共に低い状況です。

健診を受けてない人の中にも、当然生活習慣病が進行している人がいるはずですよ。

年に1度は町の特定健診を受診し、自身の健康状態を知ることが、健康づくりに生かしましょう。

健康づくり啓発の「肥後にわか」動画をホームページで公開中！



町では、国民健康保険の財政健全化への取り組みの1つとして、町職員による「肥後にわか劇」での啓発劇を制作しました。

本劇は、町民の皆さんに分かりやすい形で医療費の削減や生活習慣の改善などに取り組んでいただくきっかけとするために、町職員が企画・脚本・撮影・編集を全て手掛けて制作したものです。

町内の行政区で国保財政の健全化に関して説明する座談会などで上映し、ご自身の医療費削減や健康増進について考えていただくようご紹介しました。町公式サイト (<http://www.town.kosa.kumamoto.jp/>) で動画も公開しています。

また、本劇のDVDは、町教育委員会社会教育課で貸し出しているほか、各行政区にも配布していますので、地域でご活用ください。

町ではこれからも、国保財政の健全化に抜本的に取り組んでいきます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

※写真は、メタボリックシンドロームの予防に適度な運動を勧めるシナリオ②「過ぎたるは及ばざるがごとし」の一場面。

●特定健診受診率と県内31町村での順位

	受診率	順位
平成20年度	29.9%	29位
平成21年度	36.3%	26位
平成22年度	39.3%	24位
平成23年度	39.3%	25位
平成24年度	42.4%	未定

▼お問い合わせ先

町住民生活課

☎096・234・1113

(内線106)

✉k1g106@town.kosa.lg.jp